

〈自主的努力項目記入書式〉

提携先	有限会社月山パイロットファーム	記入日	2010/9/30
登録消費材名	民田茄子のからし漬、青菜漬、赤かぶ漬、白こうじ漬たくあん、ハリハリ大根、ひたし豆、割り干し大根漬、根菜となめこのおかず漬、漬物3種セット、冷凍だちや豆		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

- ・消費材のクオリティ向上 ～異物混入の撲滅～

① 製造中の異物混入の撲滅

事故事例からの対応だけでなく、システム的に混入防止を行うよう、衛生管理チームでの作業工程見直しを行ったが、まだ混入事故の全廃には至っていない。今年度以降も最重要課題と位置付ける。

② 原料由来の異物の混入対策

洗浄方法の見直しを工程の増加などで対策を行ってきたが、全廃まで至っていない。洗浄回数や洗浄時間の増加は、原料の味の低下も招くため、完全な全廃は困難であるうえ、近年の気候変動により、集中的な畑での虫の発生など、危険因子も増加している。原料の栽培方法から、向上することが課題となっている。

- ・記録の整備

自主管理チームによる、記録の見直しを行った。必要記録を再度精査し、また記録内容を逐次見直している。

- ・環境負荷の低減

原料栽培から、加工まで、すべての工程での環境負荷の低減を目指してきた。特に近年は原料栽培でバイオ燃料を活用し、CO₂排出量を減少させてきた。バイオガスなどのさらなる向上余地がある。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

- ・自主管理チームの編成を行い、衛生管理マニュアルの刷新を行う。

→自主管理チームと衛生管理チームの編成を行った。順次マニュアル等、管理体制の刷新を図っている。

- ・すべてのマニュアル、記録様式の見直しを行い、原料栽培、入荷から最終出荷までをはっきりとトレースできる体制を作る。

→上記自主管理チームにより、順次、管理体制の構築を行っている。

- ・燃料を含め、よりCO₂排出を低下させる。

→BDFの製造量と排油ボイラーに使用する植物排油の使用量が2000リットル程度増加したので、その分の化石燃料の使用が減少した。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

- ・自主管理チームと衛生管理チームの両面から、製造工程のPDCAサイクルの整理を行い、危険因子の洗い出しと対策、またその検証可能な記録様式への変更を行うこと。
- ・自主管理チーム、衛生管理チームともに、自主的な向上プログラムを実践すること。
- ・CO₂排出対策の見直し。